



# 田原 さゆり 19

Sayuri Tahara

## INTERVIEW

### 苦しいときはだれかに助けを求めて よき理解者や協力者を得ることは大事

新卒で就職した会社は、2年程で出産を理由に退職。出産退職は自らの希望でしたが、その後、離婚によって子育てしながら生活のために働かざるを得なくなり、その時々 of 生活スタイルに応じて転職を重ねました。

自然環境調査に長く従事しましたが、20年前の建設コンサルタント業界では女性技術者が極端に少なく、技術者としてなかなか認められませんでした。利点はすぐに顔をおぼえてもらえること。顧客との打ち合わせなど意志疎通が求められる場面では和やかな雰囲気づくりに努め、本音や余談を聞かせてもらえることもありました。

子育てや家事を経験したことによって段取りがうまくなり、時間内に手際よく仕事をこなせるようになったと思います。子育てしながら働くのは大変なこと。ひとりで乗り切れることは難しいので、苦しいときは助けを求めてみましょう。



#### タイムスケジュール



終業は17:40だが残務整理や業務の勉強・確認などをしていると退社は19:00ごろ。夕食は家族団らんの大切なひととき



#### PROFILE

1962年、札幌生まれ。大学では理学部化学科分析化学専攻、卒業後は東京の会社に就職し主に食品成分分析に従事。数回の転職を経ながら自然環境調査の実務および管理業務に長く携わる。現在ふたりの息子は27才と22才になり、子育てからは卒業。

#### 現在の仕事(活動)について

2013年9月に現在の会社に転職し、計量証明事業所として分析業務を行う部門のマネジメントに携わっています。水質、大気、騒音、振動、悪臭、廃棄物、土壌汚染、アスベストなどの調査・分析をつうじて生活環境の保全に寄与できると思っています。

#### プライベートの過ごし方

散歩、旅行、観劇、映画鑑賞、読書、友人との会食など。通勤時間にはもっぱら読書。最近は(中学生程度の)英語の本を多読しています。



- ① 1996年「土木技術者女性の会 総会」では、働き続ける気持ちが支えられた
- ② 2002年同会の見学会。女性の坑内労働解禁前に多くの女性が工事中トンネルに入るの  
画期的なことだった
- ③ 2000年ごろ旭岳ロープウェイ姿見散策。大自然の中を散歩してリフレッシュ
- ④ 1997年ごろ建設中の忠別ダムにて。行き先を決めずにドライブすることも多い

## 「身近な化学の仕事」で環境保全に寄与

### 「やりがい」だと感じられること

分析業務は民間からの受注が多いため、消費者のCS(顧客満足)がわかりやすいこと。担当部門のマネジメントでは、労働環境の改善やES(従業員満足)の向上に努めることにより、仲間の喜ぶ顔が直接見られる。若い世代が育っていく様子を見るのが楽しい。

### 忘れられないエピソード

保育所のお迎えで会議を中座し、子ども同伴で会議に戻ったこともあります。周囲の人の理解に助けられました。環境調査の現場では、なるべくトイレに行かなくて済むように前日から水分を控えたり、大の虫嫌いなのに草藪に入ったり、生きた魚を素手でつかめなかったり、けっこう泣きそうな日々でした。

### 仕事と家事の両立で工夫していること

優先順位を考え、その日のうちに最低限やらなければならないことだけこなす。頑張りすぎない、諦めも肝心。他者に助けを求めたり、ときにはお金で解決することも大切。子どもの病気などで突然会社に行けなくなっても最小限の迷惑で済むように、日頃からひとりで仕事を抱え込まないようにしておく。

### 女性が活動する上で不足していること

職場内保育所がほとんどない。育児休業のように、ある期間完全に仕事から離れるのではなく、時短や仕事量軽減により子育てしながら細々でも仕事を続けられる環境が必要。出産によって一時的に戦力ダウンしてしまう女性に対する社会的支援が足りない。地域社会における助けあいも足りない。

### 札幌を拠点に活動することについて

利便性が高い。知り合いが多い。雪さえ我慢すれば暮らしやすい気候である。

### 社会で女性が活躍することについて

女性(特に母親)の視点が男性中心の分野に加わることで、幅広いニーズに対応できるようになると思います。現状では重要な意志決定の場にいる女性の数が少なすぎますが、女性が活躍することによって改善できるはず。

### 今後の目標・展望など

男女の別、年齢などにとらわれず、だれもがいきいきと働くことができる社会になってほしい。自分は今後も成長しつつ、後進の育成に励みたい。今後女性が幅広く活躍できる世の中になるよう、女性にはもちろん男性にも、自分の経験から得たものを伝えていきたい。

### 活動を望む女性へのメッセージ

自分の目標を定めたらあきらめずに続けてほしい。ゆっくりでもいいし、人と比べる必要もない。努力は大切だけど、たまには息抜きもして。眉間にしわ寄せて怖い顔しながら頑張るよりも、笑顔でいられる程度の余裕を持ち、人にも優しく。